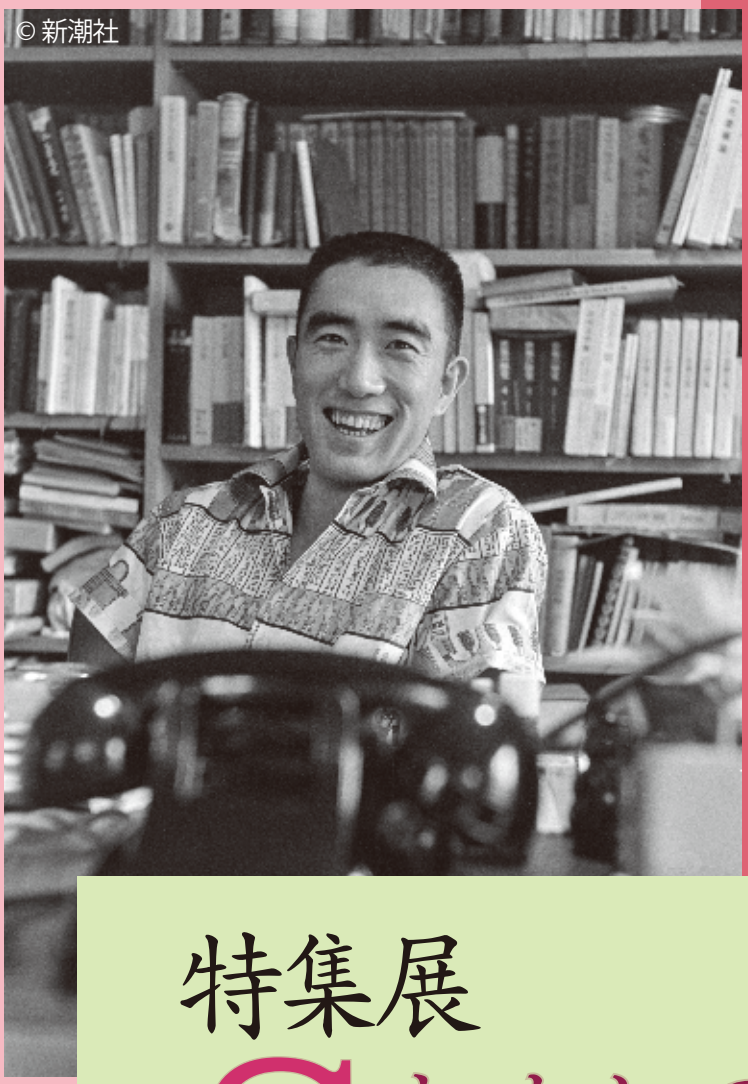

2021 8.12 thu

※会期が変更になる場合がございます。

前期
2021.8.12 thu → 2022.2.6 sun

後期
2022.2.23 wed → 8.7 sun

2022 8.7 sun

特集展
わたしの好きな Short Story ×30

@山中湖文学の森　三島由紀夫文学館

山梨県南都留郡山中湖村平野 506-296　山中湖 I.C から国道 138 号線を御殿場方面へ4km
開館時間　10：00-16：30（最終入館　16：00）
休 館 日　月・火曜日（祝祭日の場合はその翌日）※4/28～5/6は開館
12/29～翌年1/3、資料点検日（不定期）
TICKET　一般 ￥500　高・大学生 ￥300　小・中学生　￥100　小学生未満　無料
【お問い合わせ】TEL　0555-20-2655 ／ Mail　info@mishimayukio.jp
Info　https://www.mishimayukio.jp
主催　山中湖文学の森　三島由紀夫文学館・山中湖村教育委員会

長編小説で挫折した…

三島作品はむずかしい

とっつきにくい

敷居が高い

そんなあなたに
読んでほしい。

文学館スタッフが 独自の視点で選ぶ、

親しみやすく 読みやすい！

スキマ時間にぴったりの 短編小説 をご紹介します。

三島文学は長編小説だけじゃない！！

おうち時間に短編小説はいかがですか？

本展は〝三島由紀夫の名前は知っているけれども、作品は読んだことがない〟
〝難しくて途中でやめちゃった…〟という多くの来館者のことばをきっかけに企画されました。
三島は長編小説作家で難しい内容を書くイメージが強く、少し敬遠していた方もいらっしゃるのではないでしょうか。
実は45年の生涯で197作品もの短編小説を執筆し、またその内容もバラエティーに富んでいます。
そのなかから、私たち文学館スタッフが読みやすく、面白い！！ おすすめの30作品をご紹介します。
また、三島自身の短編小説に対する想いや、作品年表も展示。あなたの好きなShort Storyを見つけてみませんか？

前「橋づくし」
後「卵」
後「憂国」
後「海と夕焼け」

◀三島由紀夫『花ざかりの森・憂国』（新潮文庫刊）

未発表資料
「祈りの日記」正誤表

前「祈りの日記」
後「鍵のかかる部屋」
後「蘭陵王」

◀三島由紀夫『鍵のかかる部屋』（新潮文庫刊）

前「春子」
前「クロスワード・パズル」
前「花火」
後「サーカス」
後「雨のなかの噴水」

◀三島由紀夫『真夏の死』（新潮文庫刊）

未発表資料
「恋重荷」異稿
「鴛鴦」構想メモ

後
「恋重荷」
「鴛鴦」

◀三島由紀夫『女神』（新潮文庫刊）

前「頭文字」
「親切な機械」

◀三島由紀夫『岬にての物語』（新潮文庫刊）

前「剣」
後「宝石売買」

◀『中世 剣』、三島由紀夫、講談社

通「酸模 秋彦の幼き思ひ出」
前「S・0・S」
前「切符」
後「英霊の声」

◀三島由紀夫『手長姫 英霊の声―1938―1966―』（新潮文庫刊）

未発表資料
「鴉」異稿

前
「スタア」
「仲間」

◀三島由紀夫『殉教』（新潮文庫刊）

通…通年
前…前期
後…後期

後
「花山院」
「日曜日」

◀三島由紀夫『ラディゲの死』（新潮文庫刊）

『決定版三島由紀夫全集』
前「鴉」（第16巻収録）
後「恋と別離と」（第16巻収録）
後「天国に結ぶ恋」（第17巻収録）
『新潮』（2021年5月号掲載）
前「恋文」

◀三島由紀夫『決定版三島由紀夫全集 第16巻』・『決定版三島由紀夫全集 第17巻』（新潮社刊）

入館時のお願い

新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いいたします。
※混雑時は入場制限を実施いたします。ご入館までお時間を要する場合がございますので、予めご了承ください。